

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： カクテルパーティ効果に着目したオンライン話者とオフライン話者の選択的聴取の支援
2. 個人研究者名
高木 健（東京大学大学院工学系研究科 大学院生）
3. 事後評価結果

本研究では、カクテルパーティ効果に着目し、その効果を享受しやすい音声処理を提案し、ハイブリッド会議において、オンライン話者とオフライン話者の音声の選択的聴取をし易くするシステムの提案と実装を行った。人間がカクテルパーティ効果を発揮し易くするための3条件である、①話者の音声の到来方向がずれている、②話者の音声周波数軸上で被らない、③話者の間で音声の明瞭度が揃っている、を達成するための音声処理手法を考案し、音声処理をユーザが実際に使用できる装置の試作し、直観的に話者同士の音量調整を行えるインタフェースを提案した。さらに、他のACT-X研究者と、理論の実応用の検証に貢献する共同研究に取り組み、共著論文を発表する成果を挙げた。今後、提案手法、試作装置を発展させることにより、実際のハイブリッド会議で使用できるシステムを実現することが期待される。